

人財育成

長期的な視野に立ち、実践的なプログラムで行員一人ひとりの成長をバックアップ

みなと銀行では、入行当初から段階を踏んでキャリアを形成できる教育研修体系を構築しています。自ら考え、行動し、検証する実践的なプログラムによって金融のプロとしての資質や職務遂行能力を高め、行員一人ひとりのやる気を伸ばし、着実な成長をバックアップします。

■ 4つのポイント

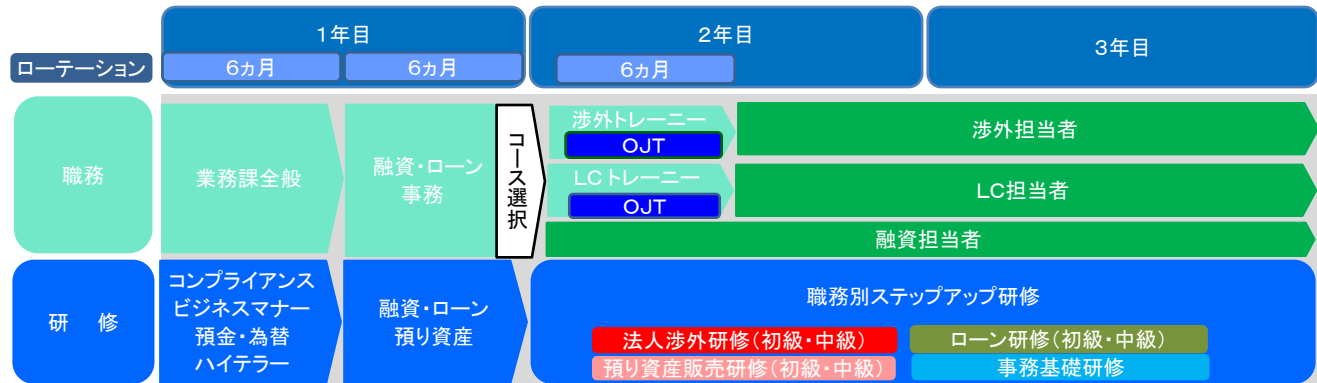
<p>マネジメント課程 教養課程</p> <p>新入行員から支店長まで 銀行員としての基礎を学ぶ新入行員研修から、指導力・リーダーシップ・マネジメント能力を高める支店長向けの研修まで、各階層を対象とした研修を実施。若手の研修は同期入行者が一堂に会して受講するため、お互いが刺激しあって知識を習得していきます。</p>	<p>専門課程 公募制度</p> <p>専門的知識の向上 渉外・融資・窓口など、それぞれの担当職務に応じた研修を実施。実際の業務に即応した研修を行うことにより、現場における多様なケースに対応できるようにスキルを磨きます。また、自ら希望する研修に応募する公募制度の研修メニューも充実しています。</p>
<p>専門課程 公募制度</p> <p>専門的知識の向上 渉外・融資・窓口など、それぞれの担当職務に応じた研修を実施。実際の業務に即応した研修を行うことにより、現場における多様なケースに対応できるようにスキルを磨きます。また、自ら希望する研修に応募する公募制度の研修メニューも充実しています。</p>	<p>意見交換 懇親会</p> <p>行員同士のつながりを重視 さまざまな研修機会を通じて、意見交換会や懇親会を実施しています。役員からの励ましの言葉や、参加行員同士のつながりを再確認することは、業務に対する不安の解消やモチベーションアップにつながっています。</p>

■ 研修プログラム

みなと銀行では、研修を「マネジメント課程」「専門課程」「教養課程」と3課程に分けて体系化しています。

入行1年目～3年目研修体系について

下記では、教養課程の一部である、入行1年目～3年目の職務内容・研修体系をお示ししています。



■ 『チームみなと』役職員全員で人財育成

みなと銀行では、役員はじめ上司、先輩が積極的に若手行員の成長をバックアップしています。下記はその一例です。

1 若手渉外バリューアップ勉強会

入行2年目から6年目の若手行員が集まり先輩と後輩が一緒になってロールプレイを実践し提案スキルを磨く地区別勉強会。



ここがポイント！ “研修だけじゃない”

1 2 とも研修の後には、役員も参加して懇親会を実施します。役員の方から直接経験談を聞いたり、励ましの言葉を掛けられ自信につながります。

このほかにも、「入行2年目意見交換会」・「サマータイム懇親会」など行員同士の絆を深めたり、切磋琢磨する機会を設けています。

2 節目研修

入行5年目・10年目のそれぞれの節目で同期が一堂に集まりキャリアの振り返りやリーダーシップ実践手法を学びます。



■ 公募制度

高い意欲とチャレンジ精神を持つ行員に対し、希望職務へ挑戦する機会を提供する「行内公募」や専門人財の育成、目利き力・コンサルティング能力の向上を目的とした「第二地方銀行協会主催研修公募」を実施しています。

〈主な行内公募例〉

〈主な第二地方銀行協会主催研修公募例〉

地域戦略部/地方創生推進

事業性評価・ソリューション提案力強化研修

事業サポート部/M&A・事業承継コンサルティング業務

法人新規開拓実践研修「法人新規先へのアプローチ」

国際業務部 アジア室/ベトナム研修派遣・上海研修派遣

創業支援融資・審査能力養成講座